

2017年12月1日

各位

2018年以降の日本障害者モータースポーツ協会及び会員制度について

日本身障運転者支援機構・日本障害者モータースポーツ協会

拝啓、平素は当会の活動にご支援を賜りまして心より厚くお礼申し上げます。日本障害者モータースポーツ協会は、2007年より身体障害のあるドライバーのモータースポーツ活動を支援する事業を行い、今年で10周年の節目を迎えることができました。2007年当時、障害のあるドライバーがサーキットを走ることなど夢の話ではありましたが、今では日本中のあらゆるサーキットで、体に障害があっても自由にサーキット走行を楽しめるようになり、さらにレースその他様々なカテゴリーで競技に参加する方々も増えてゆきました。このような現状や、10周年の節目ということもあり、日本障害者モータースポーツ協会の組織の在り方をリニューアルし、2020東京オリパラ、そしてさらにその先を見据えた、活動の持続性に重点に置いた組織改革を行うことになりました。

会員の皆様、支援者の皆さまにおかれましては、是非この改革にご賛同いただき、引き続きのご支援を賜ればと願っている次第です。以下に新しい組織の概要を記載させていただきますのでご一読頂ければ幸いです。

日本身障運転者支援機構・日本障害者モータースポーツ協会 佐藤正樹

敬具

記

- ① 2018年1月1日より、日本障害者モータースポーツ協会の下部組織として、「JAF 加盟クラブ・モータースポーツクラブ・パラモ・」（略称パラモ・PARAMO）を設立します。
- ② レーシング会員、一般会員、ボランティア会員等既存の会員種別のほか、JAF ライセンス所持者向けの「エキスパート会員」を新たに設置します。
- ③ クラブパラモの役割は以下の通りです。
 - A、ハンディキャップドライバー日本一決定戦の後継競技会としての「JAF 公認パラモドリームカップ・ハンディキャップドライバー日本一決定戦（仮題・準国内・制限付競技）」の主催及び運営
 - B、会員制度の運用（日本障害者モータースポーツ協会の会員制度を引き継ぎます）
 - C、障害のあるドライバー向けの JAF ドライバーライセンス取得支援

④ 日本障害者モータースポーツ協会の役割は以下の通りです。

A、ドリームメーカーレーシングプロジェクト（レース活動）

B、パラモータースポーツに係る調査研究及び開発

C、クラブ組織への助言・指導

D、バリアフリーフェスタの後継イベント「筑波パラモーターゲームス」（仮題）の主催運営。

E、スカラシップ等ドライバー支援。

以上

会員制度の移行及び新設について

■会員制度については以下のとおり改訂します。2018年1月1日からは、日本障害者モータースポーツ協会の会員ではなく、JAF 加盟クラブ・クラブパラモ会員となります。既存の会員は、すべて新たな制度へ自動移行します。

会員種別	出場できるイベント	参加資格	費用
エキスパート会員	■日本一決定戦 *1 (JAF クラス) ■ジョイ耐	JAF ライセンス所持者	無料
レーシング会員	■日本一決定戦 *2(クローズドクラス) ■アイトラズ	既存の資格と同様	既存の費用と同一
一般会員	なし	既存の資格と同一	無料
ボランティア会員	---	既存の資格と同一	無料

*1 日本一決定戦 JAF クラスへの出場は、必ずしもエキスパート会員である必要はありません。JAF B ライセンス以上をお持ちであればどなたでも参加可能です。

*2 日本一決定戦クローズドクラスに出場するにはレーシング会員であることが条件です。(JAF ライセンスは不要)

■会則について

パラモータースポーツ機構が定めて新たな会則によって運営されます。会員制度に関わる会則は、現行の会員制度と内容に変わりはありません。

■移行に伴う会員手続き

一般会員の方は特段の手続きは不要です。レーシング会員の方へは2月中に個別にご案内申し上げます。